

講座 人文学を解き放つ

◎ コンフリクトを追求する

「移動という日常」から考えること
大国が武力を使うとき、使わないとき

佐々木 佑
藤澤 潤

◎ 「雰囲気」を探究する

雰囲気学とははじめ
雰囲気と道徳性

久山 雄甫
安倍 里美

◎ 「ことば」を深掘りする

ことばの意味について考えるー フェイクニュース、真理、スケール性
アラブ・イスラーム研究史とデジタル・ヒューマニティーズ
古代国家の成立を探る — 播磨・吉備・大和

澤田 治
伊藤 隆郎
古市 晃

◎ 「ことば」と社会をつなぐ

港町アテネ・古代ギリシアの国際社会

佐藤 昇

◎ ジェンダーを解きほぐす

「産むこと」は特別なのか？ 「親であること」を考えなおす
300年から読み解く日本の家族と人口

中 真生
平井 晶子

◎ 「古典」を読みかえる

名画のはらむ新解釈 — カラヴァッジョを読む
シェイクスピア『ベニスの商人』— シャイロックの人物描写を中心に

宮下 規久朗
芦津 かおり

◎ 流動／変化をつかまえる

日常と文芸に見る、不穏な“予感”
土地に刻まれた記憶から学ぶ

有澤 知世
原口 剛

◎ 「こころ」を旅する

社会的孤立の可視化と予測

柳澤 邦昭

